

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(市町総括表)
【**単独**・連携事業】

市町名	野木町
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	親水公園を核にした、老若男女が触れ合いながら楽しめる緑地公園づくり	総事業費	900,000	1,500,043	1,100,248	500,000	300,000	4,300,291
		うち市町支出額	900,000	1,500,000	1,100,000			3,500,000
		うち県交付金	450,000	750,000	550,000			1,750,000
2	空家活用プロジェクト ぶらっとほうむCADO	総事業費	410,000	232,011	273,381	130,000	130,000	1,175,392
		うち市町支出額	380,000	220,000	240,000			840,000
		うち県交付金	190,000	110,000	120,000			420,000
3	アートでつながる街中活性化事業	総事業費		483,936	500,972	501,185	480,000	1,966,093
		うち市町支出額		480,000	500,000	500,000		1,480,000
		うち県交付金		240,000	250,000	250,000		740,000
4	野木町文化祭	総事業費		1,196,044	1,322,251	1,326,300	1,198,000	5,042,595
		うち市町支出額		1,196,044	1,322,051	1,325,000		3,843,095
		うち県交付金		598,022	661,026	662,500	0	1,921,548
5	野木町郷土館を地域における文化的センターとするための活性化プロジェクト	総事業費			300,521	250,699	200,000	751,220
		うち市町支出額			300,000	250,000		550,000
		うち県交付金			150,000	125,000	0	275,000
6	商工会きらりフェスタ	総事業費			2,000,000	2,129,205	2,000,000	6,129,205
		うち市町支出額			1,500,000	1,500,000	1,500,000	4,500,000
		うち県交付金			750,000	750,000	750,000	2,250,000
7	地域・こども食堂	総事業費				355,535	354,000	709,535
		うち市町支出額				354,000	311,000	665,000
		うち県交付金				177,000	155,500	332,500
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	1,310,000	3,412,034	5,497,373	5,192,924	4,662,000	20,074,331
		うち市町支出額	1,280,000	3,396,044	4,962,051	3,886,000	1,811,000	15,378,095
		うち県交付金	640,000	1,698,022	2,481,026	1,964,500	905,500	7,689,048

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	野木町
事業名	アートでつながる街中活性化事業
事業主体の名称	のぎまちづくりネットワーク
代表者の名称	浜田 敏路
事業主体の所在	〒329-0101 栃木県下都賀郡野木町友沼4640-39
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的: 私達の住む野木町を少しでも良くするため、町民の皆様と一緒に活動する。特にシニア世代の力を活かしたまちづくりを協働で進め、プラットフォーム事業で町が元気になるよう努めています。 設立年月日: 平成21年4月28日 構成員等: 野木町在住者で趣旨に賛同した方12名
当該事業に係る地域の現状と課題	野木町も少子高齢化が進み地域のつながりも無くなりつつあり、又、コロナ禍の影響で暗い気持が覆っている。コミュニケーションも不足になり、つながりも希薄、この様な中で「アート」でつながることは心を明るくし地域の活性化になると考えます。
事業目的	子供と大人が「アートでつながる」をテーマにワークショップを通じて繋がりを取り戻す。又、ボランティア団体・NPO・きりぎり館とも連携しプラットフォーム事業として企画・運営、町内外より集客を図り町の活性化につなげます。「まちおこし、人おこし、ふるさとおこし」がコンセプトであります。
事業概要	<p>令和6年度</p> <ol style="list-style-type: none"> きりぎり館芝生広場で子供と大人のイルミネーション「妖怪ランド」制作・点灯 10月13日 お絵描きワークショップ開催 12月7日 飾付ワークショップ及び点灯式を開催 アートマルシェ 6月15日・令和7年3月29日 子供のつくりアートマルシェ「おばけ屋敷」を開催 小さな美術館の開館・運営 6月29日 きりぎり展示館を活用しコウノトリ写真展を開催、ご朱印・カンバッチ配布 12月7日～令和7年1月13日 妖怪ランドイルミネーションの野外展示を開催 町巡りかるた制作と活用 絵札小学校高学年に制作を検討・読み札は大人で作成 5. 令和7年2月16日 バルンアートの学習成果を公民館まつりで発表 <p>【翌年度以降】 前年度の事業の検証・分析を基に、事業を継続する。 また、イルミネーションについては次年度も以降も継続して行う予定</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標2】 人を呼び込み、新しいひとの流れをつくる</p> <p>【数値目標】 野木町を暮らしやすいと感じている町民の割合 現状値76.4%(令和元年度調査)→目標値80.0%以上(令和7年度)</p> <p>【KPI】 観光入込客数 現状値202,736人(令和元年度)→目標値231,000人(令和7年度) 野木町の魅力の町外へのPR活動数 現状値11件(令和元年度)→目標値20件(令和7年度)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	1. 子供イルミネーションは2回のワークショップ、点灯実施 2. 顔出しパネルコンテンツとアートマルシェは予算の関係で次年度 3. 小さな美術館運営は3回開催	1. 子供イルミネーションはお絵描き・飾付ワークショップ、点灯実施 2. 顔出しパネルコンテンツとアートマルシェは予算の関係で次年度 3. 小さな美術館運営は竹のクラフト展他3回開催	1. 子供イルミネーション 2. 顔出しパネルとアートマルシェ 3. 小さな美術館運営 4. 町巡りかるた制作・活用 5. バルンアートの学習		イルミネーションの点灯など一部の事業について継続して実施
事業費	483,936	500,972	501,185	1,486,093	480,000
市町支出金(ソフト事業分)	480,000	500,000	500,000	1,480,000	
うち県交付金	240,000	250,000	250,000	740,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	3,936	972	1,185	6,093	480,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	野木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	アートでつながる街中活性化事業	
対象年度	令和6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	500,000	
自主財源	1,185	
計	501,185	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	13,000	13,000	6,500	0	お化け屋敷制作・妖怪ランド制作 イルミネーション点灯式出演料他
旅費	8,158	7,738	3,869	420	イベント調査
消耗品費	258,229	257,464	128,732	765	イルミネーション部材、消耗品等
通信運搬費	6,428	6,428	3,214	0	切手代、郵送料
工事請負費	145,000	145,000	72,500	0	イルミ設置工事
備品購入費	64,200	64,200	32,100	0	協力者用飲物
手数料	550	550	275	0	振込手数料
印刷製本費	5,620	5,620	2,810	0	コピー代
計	501,185	500,000	250,000	1,185	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市 町 名	野木町
事 業 名	野木町文化祭
事業主体の名称	野木町文化祭実行委員会
代表者の名称	実行委員長 真瀬 宏子
事業主体の所在	〒329-0195 栃木県下都賀郡野木町大字丸林571「野木町教育委員会事務局生涯学習課内」
事業主体の概要	・団体の目的:野木町文化祭の開催事業の具体的な推進を図る。 ・設立年月日: ・構成員等:野木町文化協会役員及び野木町教育委員等
当該事業に係る地域の現状と課題	野木町も少子高齢化が進み地域のつながりも無くなりつつあり、又、コロナ禍の影響で暗い気持が覆っている。コミュニケーションも不足になり、つながりも希薄、この様な中で「アート」でつながることは心を明るくし地域の活性化になると考えます。
事業目的	・文化・芸術活動に参加する町民を増やし、町民の創作意欲の高揚を喚起する。 ・文化芸術の側面から町民の交流を図り、ふるさと意識の高揚と一体感の醸成を図る。 ・多様化する文化芸術団体の成果発表の受け皿となる。 ・町内に限らず、文化の振興に関心のある団体の情報発信・交流の場を設け、文化の相互発展に寄与する。
事業概要	【令和6年度】 ○野木町文化祭の開催【参加・交流型】 <概要> ①映画会 10月20日(日)13:00~15:00 来場者668人 ②将棋大会 10月20日(日)9:00~17:00 来場者22人 ③展示発表会 10月25日(金)~27日(日)9:00~16:00 来場者574人 ④郷土館展示公開 10月25日(金)~27日(日)9:00~16:00 来場者98人 ⑤茶会 10月26日(土)10:00~15:00 来場者179人 ⑥模擬店等 10月26日(土)~27日(日) 来場者266人 11月3日(日)10:00~14:00 来場者412人 ⑦音楽会 10月27日(日)9:30~14:00 来場者409人 ⑧芸能発表会 11月3日(日) 来場者630人 ⑨交流フリマ 11月3日(日) 来場者362人 合計:4会場(町文化会館・町公民館・町体育センター・町郷土館) 【令和7年度】 ○野木町文化祭の開催【参加・交流型】 <概要> ①映画会 ②将棋大会 ③展示発表会 ④郷土館展示公開 ⑤茶会 ⑥模擬店等 ⑦音楽会 ⑧芸能発表会 ⑨交流フリマ 合計:4会場(町文化会館・町公民館・町体育センター・町郷土館) 令和6年度と同様の内容で実施予定 若年層(小中学生等)の参加を促すため、参加者募集の際に調整する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標2】 人を呼び込み、新しいひとの流れをつくる 【数値目標】 野木町を暮らしやすいと感じている町民の割合 現状値76.4%(令和元年調査)→目標値80.0%以上(令和7年度) 【KPI】 観光入込客数 現状値202,736人(令和元年度)→目標値231,000人(令和7年度) 野木町の魅力の町外へのPR活動数 現状値11件(令和元年度)→目標値20件(令和7年度) 【基本目標4】 ひとが集い、安心して暮らすことのできる地域をつくる 【数値目標】 野木町に住み続けたい住み続けると思う人の割合 現状値74.6%(令和元年調査)→目標値90.0%以上(令和6年度) 【KPI】 まちづくり(ふれあいのまち)の満足度 現状値24.8%(令和元年調査)→目標値30.0%以上(令和6年度)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	各種文化事業の実施 ①映画会 ②将棋大会 ③展示発表会 ④郷土館展示公開 ⑤茶会 ⑥模擬店等 ⑦音楽会 ⑧芸能発表会 ⑨交流フリマ	各種文化事業の実施 ①映画会 ②将棋大会 ③展示発表会 ④郷土館展示公開 ⑤茶会 ⑥模擬店等 ⑦音楽会 ⑧芸能発表会 ⑨交流フリマ	各種文化事業の実施 ①映画会 ②将棋大会 ③展示発表会 ④郷土館展示公開 ⑤茶会 ⑥模擬店等 ⑦音楽会 ⑧芸能発表会 ⑨交流フリマ		各種文化事業の実施 ①音楽会 ②将棋大会 ③展示発表会 ④郷土館公開展示 ⑤茶会 ⑥映画会 ⑦模擬店等 ⑧芸能発表会 ⑨交流フリマ
事業費	1,196,044	1,322,251	1,326,300	3,844,595	1,198,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,196,044	1,322,051	1,325,000	3,843,095	
うち県交付金	598,022	661,026	662,500	1,921,548	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	200	1,300	1,500	1,198,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
連絡先	
電話	
FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	野木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	野木町文化祭	
対象年度	令和6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
野木町支出金	1,325,000	
諸収入	1,300	交流フリマ参加費(町内団体@100円×3団体、町外団体@500円×2団体)
計	1,326,300	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)212 12	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	33,040	33,040	16,520	0	模造紙、色画用紙、ロール紙等
印刷製本費	100,100	100,100	50,050	0	文化祭プログラム・チラシ
保険料	30,050	30,050	15,025	0	会場設営保険料
手数料等	9,210	9,210	4,605	0	紅白幕クリーニング代
委託料	713,900	712,600	356,300	1,300	照明音響業務委託
使用料及び賃借料	440,000	440,000	220,000	0	映画会フィルム借り上げ
計	1,326,300	1,325,000	662,500	1,300	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	野木町
事業名	野木町郷土館を地域における文化的センターとするための活性化プロジェクト
事業主体の名称	野木歴史文化伝承会
代表者の名称	関根秋雄
事業主体の所在	野木町丸林571番地野木町役場内野木町郷土館
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的：町民自らが主体的に郷土館再生のための整備と郷土館の文化的・歴史的価値を町内外に啓蒙することを目的に設立 ・設立年月日：平成29年(2019)2月19日 ・構成員等：会員数17名
当該事業に係る地域の現状と課題	野木町は、首都東京へもっとも近い利便性と、豊かな自然が同居する今後益々注目される町であるが、これまではその歴史文化的な発信が国史跡の野木町煉瓦窯においては行われてこなかった。野木町の多様な歴史文化を一堂に集めた野木町郷土館はその活用と積極的な発信によって野木町の価値をさらに引き上げる格好の施設である。しかし、これまではそのことが十分になされてこなかったのが現状である。今回のプロジェクトは、これらのことを踏まえた地域活性化の一つのチャレンジであると考えます。
事業目的	野木町郷土館を地域活性化の中核的施設として、とくに歴史・文化的側面から、現在の建物を維持する中で様々な取組みを通じて町内外にその存在意義を知ってもらう取組みである。
事業概要	<p>【令和6年度】</p> <p>①本事業2年目にあたる今年度は、前年度実施した郷土館西側壁面を飾る看板アートの残りの部分、即ち、郷土館西壁右半分の看板アートの設置を本プロジェクトのメインとして取り組み、令和7年2月7日に当初の計画通り設置することができた。これにより郷土館西壁全面に巨大な看板アートが出現したことで、「野木町郷土館の存在」をこれまで以上に知らしめることとなり、大きな注目を集めた。</p> <p>②本会は、郷土館の認知度アップのため、町の文化祭や公民館まつりに毎年積極的に参加し、様々な企画により集客力のアップを試みてきたが、今年度の事業の一つとして、より多くの若い世代の関心と来館を意図した取組みとして、イベント用に本会独自のキャラクターをデザインした立て看板を3枚作製し、公民館まつりで披露した。</p> <p>③ガーデニングについては、前年に引続き年間を通して花々を植え、郷土館をより親しみやすい環境に整備した。</p> <p>④郷土館収蔵庫についても整備を進め、貴重なものなどを整理箱等で保管するなどの作業を行った。</p> <p>⑤郷土館展示室の整備については、昨年度に引き続き視聴覚機器の整備に努めた。この結果、これまで以上に視聴覚機器を用いたイベントが可能となった。</p> <p>⑥SNSを活用した取組みの一つとして「郷土館アーカイブ」と銘打って本会のホームページにアップした。ホームページの充実を図ったことで、ネットからの情報を得て、他県から郷土館を訪れる入館者がこれまで以上に増えてきた。</p> <p>【翌年度以降】</p> <p>引き続き、より多くの町民に郷土館に親しんでもらうためPR活動などを実施する予定</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標2】人を呼び込み、新しいひとの流れをつくる</p> <p>【数値目標】流入(移住・交流)人口 現状値:204,736人(令和元年度)→目標値:232,000人(令和7年度)</p> <p>【KPI】野木町の魅力の町外へのPR活動数 現状値:11件(令和元年度)→目標値:20件(令和7年度)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①郷土館看板アート制作 ②郷土館ネームプレートの設置 ③郷土館前のガーデニング等の景観整備 ④郷土館展示室の整備 ⑤SNSを活用した情報発信方法の強化 ⑥講師を招いての講習会の開催	①郷土館西壁看板アート制作 ②キャラクター人形等の制作 ③郷土館前のガーデニング等の景観整備 ④郷土館収蔵庫の整備 ⑤郷土館展示室の整備 ⑥SNSを活用した情報発信方法の強化	PR活動等実施予定		PR活動等実施予定
事業費	300,521	250,699	200,000	751,220	
市町支出金(ソフト事業分)	300,000	250,000		550,000	
うち県交付金	150,000	125,000		275,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	521	699	200,000	201,220	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	野木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	野木町郷土館を地域における文化的センターとするための活性化プロジェクト	
対象年度	令和6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
野木町支出金	250000	
自主財源	699	
計	250,699	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	49,064	48,365	24,183	699	事務用品、演芸用品、工具類、貫頭衣用布地等
備品購入費	71,305	71,305	35,653	0	視聴覚機材等
修繕料	5,000	5,000	2,500	0	蓄音機、土摺臼
委託料	124,476	124,476	62,238	0	看板アート設置、立て看板
手数料	854	854	427	0	銀行振込手数料
計	250,699	250,000	125,000	699	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	野木町
事業名	商工会きらりフェスタ
事業主体の名称	野木町商工会
代表者の名称	寺内 浩
事業主体の所在	野木町大字丸林384番地4
事業主体の概要	・団体の目的:野木駅周辺の活性化・地域経済の発展、魅力発信による移住定住の促進、触れ合いの場の提供による郷土愛の醸成 ・設立年月日:昭和39年7月21日 ・構成員等:380名(令和5年3月31日現在)
当該事業に係る地域の現状と課題	栃木県の最南端に位置し、茨城県と接している野木町は、JR宇都宮線や国道4号線により、首都圏へ約60km、宇都宮へ約40kmで結ばれた首都圏に位置します。地形は平坦で、気候は温暖、地味も肥沃と気候風土ともに恵まれています。このような条件下、米・麦・果樹・施設園芸などの農業が盛んです。一方、JR宇都宮線や国道4号、新国道4号線などへのアクセスのしやすから、首都圏に通勤するためのベッドタウン的色彩に加え、町内には野木工業団地、野木東工業団地のほか、新たに野木第2工業団地も完成し、豊かな自然と産業の調和のとれた「小さくてもキラリと光るまち」です。喫緊の課題は、急速に高齢化が進み以前比べると活気が停滞し、さらにコロナの影響で外出の自粛、イベントの中止や延期などで活気が沸き上がらないのが課題です。
事業目的	新型コロナウイルスの影響により町民はもとより町内事業者も大きな打撃を受けている。町が町政施行60周年の節目を迎え、町内経済を牽引する事業者で組織する野木町商工会が主体となりイベントを開催することで、町のキャッチフレーズ「小さくてもキラリと光る町」のとおり、多くの町民に「キラリ」と輝く笑顔を届け、町と野木駅周辺の活性化、地域経済の発展につなげる。また、イベントを通して野木町の魅力を全国に発信することで、交流人口や関係人口の増加、そして移住定住の促進を目指す。さらに、コロナの影響により希薄になった人との交流を復活することで住民同士の触れ合いの場を提供することで郷土愛の醸成につなげる。
事業概要	【令和6年度】 開催日:令和6年11月30日 ①イルミネーションの点灯(令和6年11月30日～令和7年1月31日) 町観光協会で毎年野木駅東西のロータリーにイルミネーションを点灯させている。野木駅の利用者をはじめ多くの方に癒しを届けている。イベントの会場はロータリーからほど近く、子どもや高齢者などの地域住民の憩いの場である。②の会場となった公園内にもイルミネーションを点灯させ駅前ロータリーとコラボレーションすることで更なる駅周辺の活性化を図った。 ②町のブランドの日本酒等の試飲及びモニター調査(令和6年11月30日) 町産米「とちぎの星」を使用した日本酒「野木きらり」は、町のブランド品であり地元農業者等の支援や地域活性化につながっている。この日本酒の認知度の向上や販路拡大に向けて、多くの方に味わっていただき、その魅力をPRした。加えて、試飲者に対してモニター調査を行い、その結果を今後の商品開発や販路拡大等のマーケティングに活用することで美味しい日本酒が飲める町としての認知度向上につなげた。また、同じく新酒ワインのボジョレーヌーボーも解禁となることから日本酒との飲み比べ等によりイベントでの振る舞い創出に向けた様々な仕掛けを地元事業者、地域団体、教育機関等の協力を得ながら行った。また、これ以外の町ブランド品のPRも行った。 ③花火の打ち上げ(令和6年11月30日) 野木町に老舗花火事業者があり「野木の花火」が町のブランドになっている。コロナの影響により各地の花火大会等が自粛、規模縮小など大きな打撃を受けている。花火は、多くの人に感動と笑顔を届けることができる。町政施行60周年に地元事業者の協力の下、イベントと併せて花火を打ち上げ、多くの方に感動と喜びを共有することで、郷土愛の醸成につなげ、さらには地域経済の活性化を図った。 ④関係人口の創出(町外への周知、継続的な参加や移住・定住への取組等) チラシを作成し、HPや町広報紙により町外への周知を行った。これにより野木町の魅力を全国に発信し移住定住の促進に繋げた。 【令和7年度】 ①イルミネーションの点灯 ②町ブランドの日本酒等の試飲及びモニター調査 ③花火の打ち上げ
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標2】人を呼び込み、新しいひとの流れをつくる 3野木町の魅力のブランド化 1野木ブランドの創出と育成 2郷土愛の醸成 KPI 野木ブランド認定件数20件(令和3年度～令和7年度) KPI 10代～50代の住民で野木町に住み続けたい、住み続けると思う人の割合 令和元年度69.91%～令和6年度80.0%

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①イルミネーションの点灯 ②町のブランドの日本酒等の試飲及びモニター調査 ③花火の打ち上げ	①イルミネーションの点灯 ②町のブランドの日本酒等の試飲及びモニター調査 ③花火の打ち上げ	①イルミネーションの点灯 ②町のブランドの日本酒等の試飲及びモニター調査 ③花火の打ち上げ		①イルミネーションの点灯 ②町のブランドの日本酒等の試飲及びモニター調査 ③花火の打ち上げ
事業費	2,000,000	2,000,000	2,129,205	6,129,205	2,000,000
市町支出金(ソフト事業分)	1,500,000	1,500,000	1,500,000	4,500,000	
うち県交付金	750,000	750,000	750,000	2,250,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	500,000	500,000	629,205	1,629,205	2,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	野木町
-----	-----

※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。

単位事業名	商工会きらりフェスタ
-------	------------

対象年度	令和6	年度
------	-----	----

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	1,500,000	野木町わがまちつながり構築事業交付金
協賛金	575,000	会員
雑収入	54,205	利息、机追加分等
計	2,129,205	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	174,186	60,886	30,443	113,300	イラスト原稿料等(チラシの原稿)
消耗品費	223,490	199,519	99,760	23,971	ライト、ビンゴ景品、試飲用酒等
燃料費	6,908	6,908	3,454	0	発電機ガソリン代
食糧費	40,700	0	0	40,700	弁当、お茶代
印刷製本費	87,120	87,120	43,560	0	チラシ印刷代
光熱水費	9,924	9,924	4,962	0	イルミネーション電気料
通信運搬費	49,668	49,668	24,834	0	案内通知、切手等
保険料	44,000	44,000	22,000	0	イベント保険料
手数料	35,250	30,300	15,150	4,950	振込手数料
委託料	865,000	478,996	239,498	386,004	花火打上げ・会場設営委託
使用料及び、賃借料	223,575	163,295	81,648	60,280	発電機・投光器レンタル料
工事請負料	342,100	342,100	171,050		仮設電源設置
備品購入費	27,284	27,284	13,642	0	スクリーン購入
計	2,129,205	1,500,000	750,000	629,205	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。
 具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	野木町
事業名	地域・こども食堂
事業主体の名称	ひまわりはうす
代表者の名称	丸山 俊郎
事業主体の所在	野木町大字丸林384番地4
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 地域の人達の交流の場を提供する ・設立年月日: 令和5年7月 ・構成員等: 町内在住者5名 町外在住者1名
当該事業に係る地域の現状と課題	野木町に地域・こども食堂が少ない現状 それに対し、こども食堂への関心や需要は年々高まっている。 その要因として非正規雇用や一人親世帯の増加などが上げられる。 今後、野木町においてこういった課題が顕在化してくることが予想される。
事業目的	食堂を通じて子どもやお年寄りの孤食をなくし地域の方々の交流の場を提供すること そうすることで多世代間交流を実現しつつ、町外からの利用者を増やしていくことで 地域間の交流も図れるような場を築き上げて、魅力ある街づくりに寄与する。
事業概要	<p>【令和6年度】 【毎月第一日曜日に地域・こども食堂の開催】 子どもからお年寄りまで、おいしく食べてもらえるような料理を提供し 老若男女だれでも気軽に立ち寄れるような居場所をつくった。</p> <p>【献立】 ・カレー・ハヤシライス・定食など ※地元の方から提供いただいた食材などを利用して調理することもあった。</p> <p>【料理】 実際に提供する料理の一部は外部から招いた講師から指導をもらい メンバーたち自身の料理スキルを向上させた。</p> <p>【情報発信】 SNSを活用し若い世代に向けて活動のPRを行った。 また、チラシの作成も行うことで幅広い世代に周知を図りつつ 町外の方も利用してもらえるよう情報発信を行った。</p> <p>【令和7年度】 次年度についても上記と同じ内容で活動を行う。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標2】人を呼び込み、新しいひとの流れをつくる 3野木町の魅力のブランド化 1野木ブランドの創出と育成 2郷土愛の醸成 KPI 野木ブランド認定件数(累計)現状値: 令和元年度17件→目標値: (令和3年度~令和7年度)20件 KPI 10代~50代の住民で野木町に住み続けたい、住み続けると思う人の割合 令和元年度69.91%~令和6年度80.0%</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和6年度	令和7年度	令和 年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・地域・こども食堂開催 ①カレー ②ハヤシライス ③定食 ④その他 (提供された食材) ・情報発信 SNSに掲載 チラシの発行	・地域・こども食堂開催 ①カレー ②ハヤシライス ③定食 ④その他 (提供された食材) ・情報発信 SNSに掲載 チラシの発行			・地域・こども食堂開催 ①カレー ②ハヤシライス ③定食 ④その他 (提供された食材) 同様の内容で実施予定
事業費	355,535	354,000		709,535	
市町支出金 (ソフト事業分)	354,000	311,000		665,000	
うち県交付金	177,000	155,500		332,500	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,535	43,000	0	44,535	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	野木町
-----	-----

※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。

単位事業名	ひまわりはうす
-------	---------

対象年度	令和6	年度
------	-----	----

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	354,000	野木町わがまちつながり構築事業交付金
自主財源	1,535	団体資金
計	355,535	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	12,000	12,000	6,000	0	講師料
印刷製本費	22,000	22,000	11,000	0	ステッカー印刷
備品購入費	169,899	168,364	84,182	1,535	無線LAN、電話機、調理器具 プリンター
賃借料	60,000	60,000	30,000	0	建物賃借料
光熱水費	60,000	60,000	30,000	0	光熱水費
委託料	25,080	25,080	12,540	0	ネット回線工事
消耗品費	6,556	6,556	3,278	0	衛生用品、食品
計	355,535	354,000	177,000	1,535	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合